

# 豊かさとは 幸せ

## の心理学

### (その2)

間違いだらけの  
豊かさとは、サヨウナラ

本当の豊かさとは

れる周りの人がいてやっ  
嬉しいのです。

幸せと豊かさ、同じような  
の質問ですが全然違います。  
家を買って人生大成功！本  
当でしょうか？ 本当に幸せ  
ですか？

本当の豊かさ、自分が本  
当に幸せなのはどんな時か  
考えてみませんか？

違います。家を買ったから  
なのではなく、そこで家族が  
家族らしく生活できてそこで  
豊かさを感じられたから幸せ  
なのです。

他人と比較して

## 嬉しい時

旅行に行った、嬉しい！  
でも本当に嬉しいのは、そ  
の旅行の土産話を誰かに伝え  
られてこそはじめて嬉しいの  
です。

街を歩いていると、ティッ  
シュを配っている人に遭遇し  
たとします。  
前の人は一つしか貰ってい  
ないのに私は二つ貰ったよ、  
ラッキー。

自動車を買った！  
隣に乗ってくれる人、同じ  
時間を分かち合える人、ある  
いは褒めてくれたり羨んでく

これが逆で怒る人が結構い  
らっしゃるようです。京都市  
では何年か前にゴミ袋が有料  
化されました。大きな袋・小

さな袋・一般用・資源ゴミ用  
と何種類もあるのですが、こ  
の有料化の最初の時に京都市  
は一セットずつを各世帯に無  
料で配りました。

「隣は2セットもらってる」

「うちはもらってない」

「いつくれるんだ」

区役所・市役所にももの凄い苦  
情が殺到したそうです。目の  
向け方が違っていきますよね。

「なんで有料化なの？」

という疑問がずれていつてま  
す。が、人間の行動としては  
こういうことはよくあること  
で、他人はこうなのに、とい  
う部分で損した得した、と感  
じる方も結構いらっしゃるも  
のです。

行動心理学の問題で、先生  
がAさんに、  
『どちらかの行動を選んで  
ください』というものがあり  
ます。

でもそれを受け取れば、Bさ  
んには三万円あげます」  
「AさんもBさんにも何も  
あげません」

Aさんはどちらを選ぶかと  
いうと、何も貰わない、Bさ  
んが得するのは嫌だ、こう考  
えて、何も貰わないという答  
えを選ぶ割合が非常に多いそ  
うです。

「俺にだけ、くれたんだ」  
こういうことを素直に喜ぶ人  
もいます。「今だけ、キャン  
ペーンです。お得です」  
これとよく似ていますね。

あいつの給料は四十万円な  
のに私は三十五万円。  
たぶん誰でもこのような経  
験があると思います。

このような他人と比較した  
損得だけを考えている間は、  
幸せになれません。断言しま  
す。

今後の日本はおそらく低成  
長です。低成長時代に昔と同  
じ事をしていてもしかたあり  
ません。

皆様にお役立て  
戴くための宣伝用  
情報誌です。

## 若者世代を

気にする必要はない

今の若者が可哀想だとおっしゃる方が大勢いらつしやいます。「年金はたぶん減るだろうし、税金はこれからどんどん上がるだろうし。」って。逆の見方で若者が可哀想だとおっしゃる方もいらつしやいます。「若者は選挙に行かないからどんどん悪くなるんだ。もっと世の中のことを見つめろ」って。

今後の日本はおそらく低成長です。収入は三十代半ばで頭打ちそれ以降は年収が下がる時代です。十人に一人がリストラされ、正社員になることも難しい、こんな時代がやってくる時に、人並みに生活するというのはどういう事か考えたことがありますでしょうか？ でもだからといって若者は不幸だと考えるのは正しくありません。

とある私の御相談の風景で

す。

「年金額を見てびっくりしました。こんなに少ないんですか？ これから子供達も結婚して孫も出来るだろうし、まだ学生の三男が残っているし、家の修理もあるし、お墓も買いたいし」

最初に私はこんな風に言いました。

「とりあえず雨風に困らない家があつて、飢え死にしない年金があつて何が心配なのですか？」

『人並み』これは結局他人と比較しているだけのことなのです。だから絶対幸せになれません。テレビや新聞やマスコミが勝手に『人並み』なる姿を描き出して、多くの人がそれに踊らされているというのに気づかないと自分らしい人生、幸せな人生はいつまで経つてもやってきません。

若者世代がどうこう、という前に、自分のこと、こちらの方がいつも大切なのです。

## 三千万円、減ってます

とはいえ先立つものはお金であつたりします。

退職金を定期預金、昔は十年で二倍です。年金支給年齢も引き上げ。昔の人より**合計三千万円のキャッシュが減っている**時代です。

年金制度もままなりません。今のままでは二十一年間で積立金が無くなるからです。高齢化率を見ますと、年間十萬円の減額を十年間、その後の十年間でさらに十萬円の減額が妥当なところだと思えます。年金が下げられないのなら代わりに消費税5%アップを二回行う感じですか。(年金額が二百万円の人で消費税が5%アップすれば十萬円に相当しますよね。)

お金は天下の回り物と言います。現役の給料が下がる時代になっていると言うことは年金も下がる時代にならないとおかしくなるということだと思います。(だから私はGDP経済成長をいつも重視しているのですけどね)

## だからライフプラン

これから可処分所得は下がるでしょう。つまり人並みの生活というのは「使えるお金が減っていくという可哀想な生活」になるわけです。でも心配いりません、対処方法があります。三つあります。

一つ目は、なるようにしかならないと諦めること。若干の覚悟が必要です。二つ目は、将来の資金計画を考えること。しっかりと考えるほど安心です。三つ目は、所得が下がらないようにする方法を考えること。働く・運用する・貰う、です。

これら3つの方法、いずれであつても、**ライフプランをしっかりと考えれば**  
**いくらでも幸せになれる**  
と思つています。

転職して年収が三割減りましたけど以前より幸せになりました。こんな方いらつしやいますよね。

貴方も一度、本当の豊かさ、考えて、ライフプランを一緒に作ってみませんか？